

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

1.1. 製品の特定

製品名： チップ磨耗防止剤 391 TB-1 (1L)
 チップ磨耗防止剤 392 TB-1F (100ml)
 製品コード： 38190、38192
 主な用途： 溶接チップ専用の磨耗防止特殊潤滑剤

1.2. 会社情報

会社名： 石原薬品株式会社
 住所： 〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原町5番26号
 連絡先： 第一営業部 整理番号： 08004-3
 連絡先電話番号： 078-681-4801 FAX 番号： 078-651-6784
 制定日： 2008年5月9日 改訂日： 2009年8月4日

2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

含有成分及び含有量

成分名化学名	含有量 mass%	CAS	化審法	安衛法	PRTR法	毒劇法
植物油	25~35	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
鉱油	1~5	非公開	非公開	通知 168	非該当	非該当
潤滑油添加剤	60~75	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当

注) 化審法 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号
 安衛法 労働安全衛生法(安衛法)第57条の2第1項政令指定物質の政令番号
 PRTR法 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)対象化学物質の政令番号
 毒劇法 毒物及び劇物取締法の政令番号

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響

人体への影響： 吸入・飲用不可。
 目への接触 ... 軽度の刺激性あり。
 皮膚への接触 ... 長期又は繰り返し接触する場合刺激性のある恐れがある。
 誤飲の場合 ... 弱い急性毒性あり。

環境への影響： 有用な情報なし。

物理的及び化学的危険有害性： 可燃性があるので火気に注意する。

消防法 危険物 第4類第4石油類(非水溶性)、危険等級

特定の危険有害性 有用な情報なし。

分類の名称 分類基準に該当しない。

4. 応急措置

目に入った場合 : コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合ははずし、直ちに多量の清浄な流水(冷水)で15分以上洗眼し、瞼の裏まで完全に洗うこと。眼用軟膏を使用しないこと。もし刺激等の異常があれば直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚に接触・付着した場合、付着液を紙・布等にて素早くふき取り、もし衣類が汚染した時は脱ぎ、触れた部位を多量の水又は石鹸を用いて洗浄すること。関節部、指と指の間をよく洗浄すること。皮膚外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、速やかに医師の診断を受けること。この製品は引火性なので、火気に注意して措置すること。

吸入した場合 : 直ちに作業を中止し、空気の新鮮な場所に移り、保温とともに安静にすること。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて、マウスウマウス人工呼吸を行なうこと。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 無理に吐き出さずに、直ちに医師の診断を受けること。
口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。
吐き出すと気管に入り易く、肺に入ると高熱が出て、非常に治りにくい出血性肺炎を起こすことがある。

5. 火災時の措置

消化剤 : 霧状の強化液、泡、粉末、炭酸ガス

消火に棒状の水を用いてはならない。

- 消火方法 :
- ・可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除く。
 - ・消火作業は、適宜な消火器を用いて、風上から行なう。
初期の火災には、粉末消火器、炭酸ガス消火器等で消火する。
 - ・周辺火災の場合は、移動不可能な場合は周辺に散水し冷却する。
 - ・小規模火災には、火元を遮断し、消火器等を使用して消火する。
 - ・大規模火災には、泡消化剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は、火災を拡大し、危険な場合がある。
 - ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火を行なう者の保護 : 大規模火災には、適切な保護具(耐熱性着衣、手袋、呼吸保護マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・漏出付近から着火源や可燃性のものを速やかに取り除く。
- ・着火に備えて、適宜な消火器具を準備する。
- ・作業の際には、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用する。
- ・大量の場合、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の出入りを禁止する。

環境に対する注意事項

- ・ 河川や一般排水溝等に排出しないように注意する。

除去方法

- ・ 少量の場合： 乾燥砂、土、その他不燃性の物を用いて吸着させて、空容器に回収する。その後、完全にウエス等でぬぐい取る。
- ・ 多量の場合： 土のう等で流出を防ぎ、安全な場所に導いた後、ポンプ、杓子等で空容器に回収する。
- ・ 海上の場合： オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合には運輸省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
- ・ 室内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて換気を行なう。
- ・ 火花が発生しないように、プラスチック製などの用具を用いて回収する。
- ・ 廃棄物は関連法令に基づいて処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策

- ・ 周辺での火気、スパーク、高温物の使用は避けること。みだりに蒸気を発散させないこと。
- ・ 火気に近づけないこと。
- ・ 蒸気及び噴霧されたミストを吸い込まないようにすること。
- ・ 暴露防止のために、皮膚・眼・顔を保護する適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護前掛け、ゴーグル等）を着用すること。
- ・ 取扱い後は手洗い、うがい、洗顔を十分に行なう。作業衣等に付着した場合は着替えること。
- ・ 静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のものを使用する。
- ・ 石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため、換気及び火気などへの注意が必要である。
- ・ 飲まないで下さい。
- ・ 容器から取り出すときはポンプなどを使用すること。細管を用いて口で吸い上げてはならない。

注意事項

- ・ 換気のよい場所で使用し、容器は使用ごとに密栓すること。
- ・ 指定数量以上の危険物を取り扱う場合は、法で定められた基準によって、製造所、取り扱い所で行なうこと。
- ・ 常温で取り扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意すること。
- ・ 危険物が残存している機械設備などを修理する場合は、安全な場所において危険物を完全に除去してから行うこと。

保管：

適切な保管条件

- ・ 容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になる所を避け、風通しの良い冷暗所で保管すること。
- ・ 保管は、周辺での火気、スパーク、高温物との接近する場所を避けること。また、静電気蓄積を避けること。

- ・ 危険物の表示をして保管すること。
- ・ ハロゲン類、強酸化剤、強塩基、強酸から離して置くこと。
- ・ 類の異なる危険物と同一の場所に貯蔵しないこと。
- ・ 子供の手の届かないところに保管すること。
- ・ 保管場所で使用する電気器具は、防爆構造とし、器具類は設置する。

保管：

- ・ 空容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると破裂することがある。
- ・ 容器を溶接・加熱・穴あけまたは切断しないこと。爆発を伴って残留物が発火することがある。

8．暴露防止及び保護措置

設備対策：	屋内は全体に換気する。ミストが発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。	
管理濃度：	規定なし（作業環境評価基準：労働省告示第26号、平成7年．3．27）	
許容濃度：	日本産業衛生学会（1996年度版）：	3 mg / m ³ （鉱油ミストとして）
	ACGIH（1996～1997年度版）：	TWA 5 mg / m ³ （鉱油ミストとして）
保護具：	目の保護具	目にかからないように注意すること。飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
	呼吸保護具	通常は必要ないが必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を使用する。
	皮膚の保護具	長時間または繰り返し接触する場合には、耐油性手袋を使用する。長時間にわたり取り扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。濡れた衣服は脱ぎ、完全に清浄にしてから再使用する。
	その他	導電性安全靴を使用する。

9．物理的及び化学的性質

外観：	淡黄色液体	溶解度 水：	不溶
pH：	該当しない	臭気：	微かな石油臭
引火点：	200 以上（COC）	揮発性：	なし（常温）
密度：	0.93 g / cm ³ （15）		

10．安定性及び反応性

可燃性：	あり
発火性（自然発火性）：	なし
酸化性：	なし
自己反応性・爆発性：	なし
安定性：	一般環境下で安定。
反応性：	化学的に安定、反応性なし。
その他の危険性情報：	

避けるべき条件：熱・火災・その他着火源から遠ざける。

避けるべき材料：強酸化剤との混合禁止。

1 1 . 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性：	文献データはないが、腐食性はないと考えられる。
刺激性（皮膚・目）：	長期又は繰り返し接触する場合刺激性ある恐れあり。
感作性：	有用な情報なし
急性毒性(LD ₅₀)：	有用な情報なし
亜急性毒性：	有用な情報なし
慢性毒性：	有用な情報なし
ガン原性：	有用な情報なし
変異原性：	有用な情報なし
生殖毒性：	有用な情報なし
催奇形性：	有用な情報なし
その他の有害性情報：	飲むと下痢、嘔吐する可能性がある。 眼に入ると炎症を起こす可能性がある。 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。 ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

1 2 . 環境影響情報

分解性：	有用な情報なし
蓄積性：	有用な情報なし
魚毒性：	有用な情報なし

1 3 . 廃棄上の注意

- ・ 内容物、容器等の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 投棄禁止。
- ・ 埋め立て処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについて、下記の物質が総理府で定めた基準以下であることを確認しなければならない。
銅又はその化合物、亜鉛又はその化合物、ふっ化物、アルキル水銀化合物、水銀又はその化合物、ヒ素又はその化合物、六価クロム化合物、有機リン化合物、鉛又はその化合物、カドミウム又はその化合物、シアン化合物、PCB。
- ・ 燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張り人をつけること。
- ・ 製品が付着している容器、機械装置等を洗浄した廃液などは、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
- ・ 排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行なうか、委託する。

1 4 . 輸送上の注意

陸上輸送：	消防法：	危険物 第4類 第4石油類 危険等級 (非水溶性)
容器：	危険物の規制に関する規則別表第3の2	

金属製ドラム(250L)、金属製容器(60L)等

容器表示：一 危険物の品名： 第四石油類、危険等級、潤滑油

二 数量

三 火気厳禁

1) 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

2) 指定数量以上の危険物を車両で運送する場合は、自治省令で定めるところにより、当該車両に標識を掲げること。またこの場合、当該危険物に該当する消火設備を備えること。運搬時の積み重ね高さ3m以下とする。

3) 第一類及び第六類の危険物及び高圧ガスを混載しないこと。

海上輸送： 非危険物 個別運送及びばら積み運送において
船舶安全法の定めるところに従うこと。

航空輸送： 非危険物
航空法の定めるところに従うこと。

国連分類： 該当しない

国連番号： 該当しない

注意事項： 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を完全に行なう。
危険物なので、「火気厳禁」。

15. 適用法令

消防法：危険物第4類第4石油類 危険等級 (非水溶性)

危険物の規制に関する政令

危険物の規制に関する規則

労働安全衛生法：既存化学物質名簿への収載

第57条の2第1項(通知対象物)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制(拡散、排出の禁止)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令

海洋汚染防止法：油分排出規制(原則禁止)

水質汚濁防止法：油分排出規制(5mg/L 許容濃度)

ノルマルヘキサン抽出分として検出される。

下水道法：鉱油類排出規制

船舶安全法：非危険物

航空法：非危険物

PRT法：該当しない

毒物及び劇物取締法：該当しない

化審法：既存化学物質名簿への登録

容器包装リサイクル法

都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体にご確認ください。

16. その他の情報

16.1. 引用文献

原料メーカー発行の製品安全データシート

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版（日本オートケミカル工業会）

J A C A（日本オートケミカル工業会）編集：化学物質管理データベース

16.2. J I Sの有無

なし

16.3. 記載内容の問い合わせ先

石原薬品株式会社 第一営業部

電話番号： 078 - 681 - 4801

F A X番号： 078 - 651 - 6784

注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報モデルの一つとして、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。